

*安房高等女学校木造校舎を愛する会

関東大震災から7年後の1930（昭和5）年、千葉県立安房高等女学校の木造校舎が新たに建てられました。大きく羽を広げた白鳥のように左右対称の美しい外観で、各所にきめ細やかな設計配慮が見られます。女子教育としては県内2番目の由緒を誇り、戦後には安房女子高校・安房第二高校・安房南高校と名称を変えながら、多くの卒業生を輩出してきました。

1980年代に次々と校舎の建て直しが進むなか、安房南高校の中村浩校長（当時）が保存を英断した木造校舎は、1995（平成7）年には県指定有形文化財となりました。しかし創立100年を迎えた2008（平成20）年、安房高校との統廃合により歴史の幕を閉じました。

その後10年を経て、ほぼ使われていない木造校舎の老朽化を心配した市民有志により、2017（平成29）年秋に「安房高等女学校木造校舎を愛する会」が発足し、事務局をNPO法人安房文化遺産フォーラムが担っています。

千葉県教育委員会と安房高校の許可を得て、草刈りや掃除、見学会の手伝いなどを随時おこなってきました。建物の魅力を多くの皆さんと共有し、忘れられつつある歴史をひもといて調査・記録しながら、永続的な保存活用を目指していきたいと願っています。



昭和初期の安房高等女学校

【オプション企画】

*ミニ講座&証言の会

会場：旧安房南高校木造校舎

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム
安房高等女学校木造校舎を愛する会

2018
10/28
13:30~15:00
(日)

校舎に残る貴重な資料から、歴史の調査研究を進めています。

たとえば戦時下には、館山病院で看護の勉強をして、沖縄の「ひめゆり部隊」のように安房高女も準備が進められていたようです。明らかになってきた戦前の安房高女や新制高校の歴史や、卒業生の思い出話を聞きましょう。懐かしい昔の写真や記録をお持ちの方は、ぜひご持参下さい。

※なるべくスリッパをご持参ください。